

議事録

平成19年度 第71回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成20年3月25日(火) 13:45～17:00

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、国武副学長、晴山副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷外国語学部長、迎経済学部長、赤塚文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報総合センター長、伊藤国際教育交流センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、吉塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配付資料

- 1 教員昇任選考報告書(基盤教育センター)
- 2 教育職員の休職について(国際環境工学部)
- 3 - 1 教員採用選考結果報告(地域創生学群設置準備委員会)
- 3 - 2 - 1 特任研究員受入・採用申請一覧(国際環境工学部)
- 3 - 2 - 2 特任教員、特命教授及び特任研究員に関する規程
- 4 再任審査報告書(国際環境工学部)
- 5 評価室副室長の選考について
- 6 情報セキュリティ委員会規程(改正案)
- 7 各種委員会等の構成
- 8 学則及び規程の改正について(新旧対照表)
- 9 平成19年度後期学友会交渉申入書回答(案)
- 10 - 1 サバティカル制度に関する学部等の意見・質問と回答
- 10 - 2 サバティカル制度に対する学部等の意見(全文)
- 10 - 3 サバティカル制度要綱(案)
- 11 - 1 特別研究推進費における学部長等裁量経費の新設等について
- 11 - 2 科学研究費補助金間接経費に係る学部長等の裁量経費等について
- 12 教育研究審議会の構成について
- 13 地域創生学群設置準備委員会委員名簿
- 14 英米学科との基盤教育科目調整結果報告
- 15 英語問題出題・チェック・採点体制のガイドライン
- 16 平成20年度収支予算書総括表
- 17 施設充実プロジェクトチームについて
- 18 平成20年度公開講座等事業一覧
- 19 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

冒頭、第69回及び第70回教育研究審議会議事録(案)について確認。また、本日の報告事項「地域創生学群設置準備委員会の構成について」を議題として審議することを確認。

議事録

第1号 教員の人事について

* 資料1のとおり、平成20年4月昇任人事（准教授昇任1名、基盤教育センター）について、選考委員会からの報告がなされ、同報告に基づき昇任候補者の昇任について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 教員の休職について

* 教員の休職更新について、資料2のとおり提案。

休職の更新となるが、復帰に向けたリハビリプログラムを組むこと、主治医と本学産業医との連絡を密にするよう伝えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 教員の採用について

* 資料3-1のとおり、地域創生学群（障害者スポーツ指導論）について、選考委員会から採用候補者（洞ノ上 若希氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料3-2-1のとおり、国際環境工学部の特任研究員の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 任期制教員の再任について

* 平成20年3月31日付で国際環境工学部の任期が満了する任期制教員4人について、再任審査委員会からの再任審査報告がなされ、同報告に基づき、任期制教員の再任を資料4のとおり提案。

議事録

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第5号 評価室副室長の選考について

* 評価室副室長の選考について、資料5のとおり提案。

副室長の具体的な業務はどのようなものを想定しているのか。

20年度の早い時期に行うこととしている教員評価制度の見直しが主な業務となる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第6号 情報セキュリティ委員会規程の改正について

* 情報セキュリティ委員会規程の改正について、資料6のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第7号 地域創生学群設置準備委員会の構成について

* 平成20年4月1日における地域創生学群設置準備委員会の委員構成及び委員長の交代について、資料13のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第8号 各種委員会の構成について

* 20年度の各種委員会の構成について、資料7のとおり提案。

地域創生学群については、文部科学省への設置届出が済んだ後に、地域創生学群設置準備委員会の委員長と当該委員会の委員長で協議し、正式に各種委員会へ委員を出すこととする。それまでは、入試や広報などオブザーバーとして参加する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

議事録

第9号 学則及び規程の改正について

* 教職課程及びカリキュラムに係る学則及び学部規程の改正について、資料8のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第10号 学友会交渉申入書に対する回答について

* 平成19年度後期学友会交渉申入書に対する回答案について、資料9のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第11号 サバティカル制度の導入について

* サバティカル制度について学部等の意見も踏まえ、資料10-3のとおり提案。

サバティカル休職という言い方は分限処分と誤解されるので、別の呼称を検討する。
サバティカル取得について、各学部等において授業等の調整が可能なことを要件としているが、科目の性格上困難な場合がある。非常勤講師等の予算措置がないと部局によっては制度をほとんど活用できない可能性がある。
今回の提案は、予算の制約がある中でも何か制度が作れないかというところから検討を行ったものである。実際に制度を運用して、各部局の状況や内部努力も見ながら出来るものは改善していきたい。
サバティカルで休職した場合に減額となる賞与や手当などを財源とすることも可能ではないか。
一律に予算措置することは現時点では考えていない。が、提案された件については個別事例を積み重ねていく中で検討したい。
サバティカル取得者の学外異動を抑制するための費用の返還措置が必要ではないか。
他大学の状況や法的課題等も踏まえ、サバティカルに要した費用の返還を求めることまでは考えていない。

【議長】提案について、本日の議論を踏まえ一部修正のうえ、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

議事録

第12号 学部長等裁量経費について

* 学部長等裁量経費の導入について、資料11-1（特別研究推進費の活用）及び資料11-2（科学研究費補助金間接経費の活用）のとおり提案。

科学研究費補助金間接経費の活用について、近隣の大学の状況も踏まえ、裁量経費に充てる比率は妥当か。

光熱水費など大学施設の維持管理に一定の外部資金を充てることは必要である。ただ、科学研究費補助金の獲得状況によっては、今後、比率を見直すことも考えられる。地域創生学群の取扱いはどうなるのか。教員の所属は各部局だが、教育組織として戦略的機動的な運営が必要となる面がある。

今後、研究委員会と地域創生学群とで協議させていただきたい。

裁量経費の用途については「研究」に限定されるのか。

教育と研究の線引きは難しい。また、入試広報等で活用したいというニーズもある。今後運用していく中で、提案もいただきながら今後作成する実施要領の中で決めていきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

平成20年度教育研究審議会の構成について、資料12のとおり報告があった。

英米学科との基盤教育科目調整結果について、資料14のとおり報告があり、会議での意見を踏まえ資料の一部について、関係者に確認のうえ再整理することとなった。

英語問題出題・チェック・採点体制のガイドラインについて、資料15のとおり報告があった。

平成20年度予算について、資料16のとおり報告があった。

資料を見て、何でもやるという発想では大学の財政運営が立ち行かないことを痛感した。是非このような情報を毎年審議会に出していただきたい。執行部だけでなく教員全員がよく認識する必要がある。

施設充実プロジェクトチームの設置について、資料17のとおり報告があった。

平成20年度公開講座について、資料18のとおり報告があった。

教員の海外出張について、資料19のとおり報告があった。

次回の審議会を4月8日(火)に開催する予定である旨、報告があった。